

反映状況票

(単位:百万円)

省庁名	調査事業名	調査主体	取りまとめ財務局	元年度予算額	2年度予算案	増▲減額	反映額
国土交通省	(35) 空き家対策の取組	共同	(北陸財務局)	社会資本整備総合交付金等 2,188,659の内数 住宅市街地総合整備 促進事業費補助 114,342の内数	社会資本整備総合交付金等 1,801,456の内数 住宅市街地総合整備 促進事業費補助 113,703の内数	社会資本整備総合交付金等 ▲387,203の内数 住宅市街地総合整備 促進事業費補助 ▲639の内数	▲673
事案の概要	適正に管理されない空き家等が周辺の生活環境に深刻な影響を及ぼしていること等を背景に、空家等対策の推進に関する特別措置法が施行され、補助事業を新設するなど、市区町村における空き家対策の推進を図っている。今後、更なる空き家の増加が見込まれるところ、空家等対策計画及び補助事業の実態把握及び検証を行い、補助要件の見直しを行うなど、より効果的な政策とすることを旨とする。						

調査結果の概要及び今後の改善点・検討の方向性

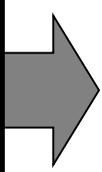
1. 空き家対策の進捗状況

① 空き家に関する実態把握の状況
 空き家等に関する実態把握について、部局をまたいだ連携など効果的かつ効率的な把握方法の周知などを行い、市区町村における空き家の実態把握を促進すべき。

② 計画の記載内容等
 空家等対策計画について、有効的な記載について横展開を図るべき。
 また、空き家対策総合支援事業（個別補助事業）について、実態把握等、計画策定に関する事業に国費を充てたい市区町村に対しては、計画への数値目標の設定や具体的政策に関する記載を要件化すべき。

2. 国費支援の状況

今後の空き家再生等推進事業（交付金事業）による除却・活用の実施に当たっては、空家等対策計画の策定を要件化すべき。
 また、空き家対策総合支援事業において、個別補助事業の目的を勘案し、不良住宅の除却について要件の見直しや効果的なソフト事業との連携について要件化するなど、個別補助事業の見直しを検討し、交付金事業との役割を整理すべき。



反映の内容等

1. 空き家対策の進捗状況

① 空き家に関する実態把握の状況
 国土交通省において、実態把握の取組事例を収集の上、市区町村に対して優良事例の周知を行うこととする。

② 計画の記載内容等
 国土交通省において、空家等対策計画の記載内容を調査の上、市区町村に対して優良事例の周知を行うこととする。
 また、空き家対策総合支援事業について、実態把握等、計画策定に関する事業を実施する場合に空家等対策計画に数値目標や空き家対策を推進する具体的政策を記載することを要件とした。

2. 国費支援の状況

空き家再生等推進事業による除却・活用の実施に当たって、空家等対策計画の策定を要件とし、未策定のを国費による支援対象外とすることとした。（反映額:▲673百万円）
 また、空き家対策総合支援事業において、空き家再生等推進事業との差別化を図るため、
 ・不良住宅の除却の補助対象を周辺環境に悪影響を及ぼす特定空家等と同趣旨のものに限定した。
 ・普及啓発、ワンストップの相談窓口の設置その他の空き家の発生を抑制する事業、隣地取引のコーディネートその他の空き家の活用と除却を支援する事業等の総合的・効果的な取組を空き家対策総合実施計画に位置付けることを要件とした。